

## ☆助動詞に強くなって会話力アップ-2

3. must (自分の判断で)「…しなければならない。」の意

I must study English. 私は英語の勉強をしなければならない。

mustは自分自身への強制ならいいのですが、他人に対してはきつく感じので、mustよりも have to (has to) がよく使われます。

◎ ただし、つぎのような場合は must を使って言われたら……うれしいもの。初めて、ホームステイするなつえさん、ホームステイパパとママが大歓迎。夕食はすごいご馳走。ホームママが心を込めてつくった料理。みんなでそれを囲んだとき、ホームママが、にっこりしてなつえさんに、

“Natsue, you try have all kinds of dishes on the table.”

と一言。

それを聞いたなつえさんは、



「えっ、こんなたくさんの種類のものを食べなさいって？無理無理。来た早々、『～しなさい。』って随分厳しいのね。」

と思いましたが、でも、間違っていました。ホームママが言ったのは、

「なつえさん、私の作ったもの、ぜひとも食べてね。とってもおいしいのよ。」と優しく勧めてくれた言葉なのでした。

must は自分に厳しく、相手には(相手の利益)を思って使う言葉です。

でも、相手に対する配慮を表す言葉でもあります。

You must come to the party.

「ぜひとも、パーティーに来てください。」

は、

「パーティーの主催者側が、相手側に「自分にとっても来て欲しいと思って下さっているのだから。大歓迎してくれるのだから。うれしいなあ。」

と思わせる文ですね。